

血清性性腺刺激ホルモン注射液（凍結乾燥品）

要指示医薬品 指定医薬品

セラルモン[®] 1000

【本質の説明又は製造方法】

血清性性腺刺激ホルモン（Pregnant Mare Serum Gonadotrophin, PMS）は、妊娠初期の馬の子宮内膜腔で産生されて血液中に現われる性腺刺激ホルモンで、胎盤性性腺刺激ホルモン（HCG）とともに臨床繁殖の分野で繁用される重要な性腺刺激ホルモンである。

セラルモンは高純度PMSの注射剤であり、生物学的定量法によって標準品と比較検討しているので、安定した力価を保有する。

【成分及び分量】

本品1管中

有効成分	含 量
血清性性腺刺激ホルモン	1,000単位

別に溶解用液（生理食塩液）を添付

【効能又は効果】

馬（雌）：卵胞発育障害（卵巣発育不全、卵巣静止、卵巣萎縮）

牛（雌）：卵胞発育障害（卵巣発育不全、卵巣静止、卵巣萎縮）、多排卵誘起

豚（雌）：卵胞発育障害（卵巣発育不全、卵巣静止、卵巣萎縮）、分娩後の発情誘起、多排卵誘起

めん羊（雌）：卵胞発育障害（卵巣発育不全、卵巣静止、卵巣萎縮）、多排卵誘起

犬（雌）：卵胞発育障害（卵巣発育不全、卵巣静止、卵巣萎縮）、無発情期における発情誘起

馬（雄）：精巣機能減退（精子減少症、軽度の精子死滅症）

牛（雄）：精巣機能減退（精子減少症、軽度の精子死滅症）

豚（雄）：精巣機能減退（精子減少症、軽度の精子死滅症）

犬（雄）：精巣下降不全

【用法及び用量】

本剤は用時に、添付された生理食塩液で溶解し、1日1回1頭当たり血清性性腺刺激ホルモンとして下記の量を筋肉内又は皮下に注射し、必要に応じて反復投与する。

馬：500～2,000単位

牛：500～2,000単位（多排卵誘起の場合2,000～4,000単位）

豚：400～1,000単位（多排卵誘起の場合1,000～2,000単位）

めん羊：500～1,000単位（多排卵誘起の場合1,000～2,000単位）

犬：50～200単位

【使用上の注意】

（基本的事項）

1. 守らなければならないこと

（一般的注意）

- ・本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。
- ・本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- ・本剤は定められた用法・用量を厳守すること。

（取扱い及び廃棄のための注意）

- ・小児の手の届かないところに保管すること。
- ・本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。
- ・使用期限が過ぎたものは使用しないこと。
- ・注射器具は滅菌又は煮沸消毒されたものを使用すること。薬剤により消毒をした器具又は他の薬剤に使用した器具は使用しないこと（カス滅菌によるものを除く）。なお、乾熱、高圧蒸気滅菌又は煮沸消毒等を行った場合は、室温まで冷えたものを使用すること。
- ・誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。
- ・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・使用済みの注射針は、針回収用の専用容器に入れること。針回収用の容器の廃棄は、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分業の許可を有した業者に委託すること。
- ・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。

2. 使用に際して気を付けること

（使用者に対する注意）

- ・妊娠中の女性には、投与作業を行わせないこと。
- ・誤って注射された者は、直ちに医師の診察を受けること。

（対象動物に関する注意）

- ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

（取扱い上の注意）

- ・本剤は溶解用液に混和後直ちに振とう溶解し、速やかに使用すること。なお、本剤（バイアル）を分割投与する場合は、速やかに使用すること。
- ・本剤（アンプル）はワンポイントアンプルを使用しているため、アンプルをカットする際には、アンプル上部の青色丸マークが上になるよう持ち、反対方向（下方）へ折るようにすること。

(専門的事項)

①対象動物の使用制限等

- ・本剤の投与前には健康状態について検査し、使用の可否を決めること。

②重要な基本的注意

- ・本剤の投与により、過排卵を起こし、多胎妊娠することがある。
- ・本剤の反復投与により、抗ホルモン抗体が産生され効果を減ずることがある。

③副作用

- ・本剤の投与により、過敏性反応を起こすことがある。

【薬理学的情報等】

(薬効薬理)

- ・生物学的作用はFSH作用と類似し、また少なからずLH様作用を有する。
- ・成熟雌性動物に対して、卵胞の成熟を促進し、排卵誘発作用をもたらす。成熟雄性動物に対しては、精巢発育作用を有する。(ラット・マウス)

【包装】

1,000単位 10管 (溶解用液として生理食塩液 5mL 10管添付)

【製品情報お問い合わせ先】

共立製薬株式会社 学術
〒102-0073
東京都千代田区九段北一丁目11番5号
TEL 03-3264-7559

製造販売業者



共立製薬株式会社

東京都千代田区九段南 1-6-5

®登録商標

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査 (<https://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。

SER04-MU2306